「平和と人権」市民ネットワーク情報　N020-1

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　　2020.1/20

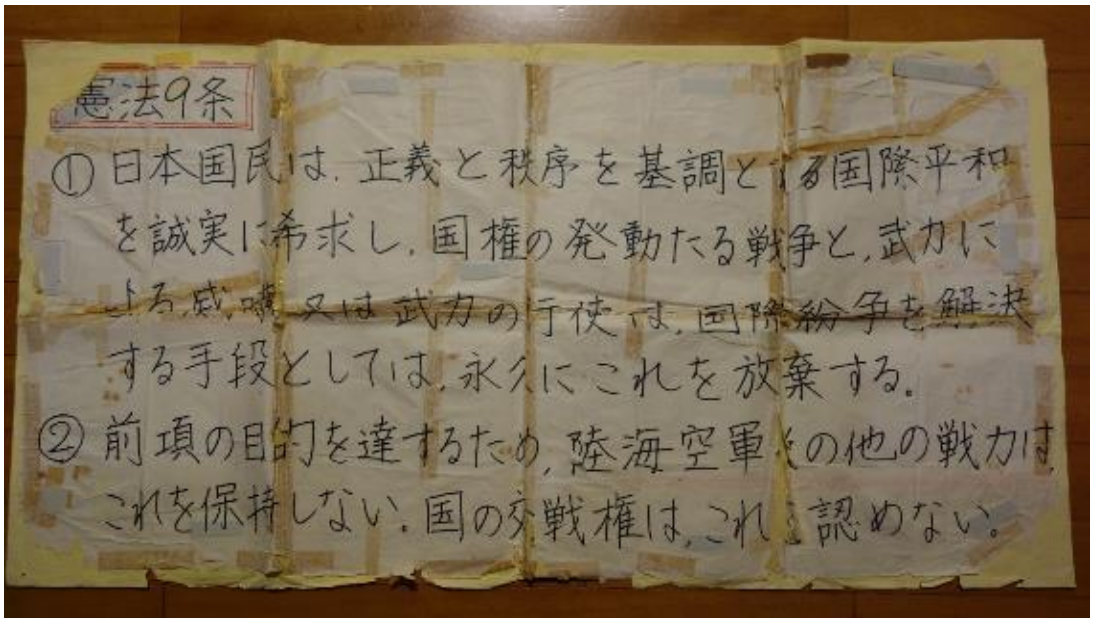
寄稿　向井一雄

『つなぐ・伝える～憲法第９条～』

わたしが後世に受け継ぎたいもの。それは、37 年前、中学の教師になって一年目。3 年生の公民の授業で使った教材です。白い模造紙に書いた憲法第９条の条文、①②項全文を丸写しただけのも。今となっては茶色く変色し、ビリビリに破れてしまっていますが、退職するまで現役としてずっと授業で活躍してくれていました。途中、自衛隊のイラク派遣や集団的自衛権容認の法案強行など、政府の都合いいように解釈がされ、ボロボロにあつかわれてきた９条ですが、戦後 75 年間、1 字 1 句変わらず我々の平和を死守してくれました。

憲法改正や戦前回帰が心配される今だからこそ、その理念がいっそ輝いて感じられるのかもしれない。今改めて９条平和主義の理念を受け入れる覚悟があるか、われわれに問われている。

９条に守られてきた我々が、今度は９条を死守しなければならない。授業で教えた平和憲法の理念を子供たちにも、全世界の平和のためにもそのまま残したい。間違っても過去の遺物などにされぬように。



※本文は 1 月 5 日朝日新聞「声」欄に掲載されました。ビリビリに破れた模造紙の写真は今回提供されたものです。向井さんから頂いたお手紙の一部を紹介します。

「わたしはあまり体調がよくなく、文字もままならなくなってきました。……でも、こうして自分の気持ちを読み取ってもらえるんだと思うと、また投書してみたくなります。頑張る勇気が湧いてきました。」

「市民ネットワーク」・「市民アクション」

2020 年の活動をどう進めるか　事務局

(1)　改憲の動き

昨年 7 月の参議院議員選挙で、一人区での野党共闘が功を奏し、改憲勢力は参議院の 2/3 の議席を割り込み、自民党は参議院の単独過半数を失いました。選挙結果は**安倍改憲に明確に NO！**の意思を示しました。にもかかわらず、というか、だからこそというべきか、安倍首相は改憲の旗を降ろしません。しかし、具体的な展望はありません。昨秋の臨時国会では、「桜を見る会」の追求もあって、衆参の憲法審査会は動かず、改憲 4 項目の提示すらできませんでした。

国会が動かない分、草の根の改憲運動に力を入れざるを得ません。自民党は三役が一体となって小選挙区単位で改憲集会を開くことを目論んでいます。そこに安倍首相の改憲メッセージを動画で流し、自衛隊の憲法明記を煽っています。このような草の根の改憲運動に対抗して、私たちはどのように**草の根の平和運動**を進めていくべきでしょうか。これが今年一番の課題だろうと思います。

(2) 草の根の平和運動

①署名活動

安倍 9 条改憲 NO！の声を足元から広めていくために、まず署名活動に取り組みたい。2017 年 9 月から始まった「安倍 9 条改憲 NO！全国統一署名」(いわゆる 3000 万署名)は 2019 年末で終了しました。目標の 3000 万には届きませんでしたが、1000 万強の署名を集め、安倍改憲を止める力になりました。署名活動は運動に具体的な形を与え、成果がはっきりとした数字になってあらわれます。**伊東市全体の署名数は 8,500 筆**でした。この数字をどう評価したら良いでしょう。概括的にいうと、18 年末までに一定数を集め終わった後、19 年になってから二次、三次の取り組みが弱かったように思います。その理由は働きかけが一定の範囲にとどまり、**「一般世間」にまで**署名の輪を広げられなかったことにあると考えています。そんななかで、「市民アクション」では毎月 9 日を地域共同署名の日とし、最後まで継続して署名活動に取り組むことができました。次につながる活動でした。9 条改憲に反対する新組織=「伊東市民アクション」を立ち上げ(18 年 1 月)、3000 万署名に取り組んだことの意義は大きいと自負しています。

2020 年 1 月から新たに**「改憲発議に反対する全国緊急署名」**が始まりました。どんな目標と方針でこの署名活動に取り組んだらいいでしょうか。次の二つ点に留意したい、と考えます。

一つは 3000 万署名との連続性です。「緊急署名」は新署名ですので、3000 万に署名した人も署名して良いわけです。が、改憲反対の声を**さらに広げていく**ために、これまで 3000 万署名の働きかけをしていない人・地域に**足を伸ばして**署名活動に取り組みたい。3000 万署名をさらに積み上げていくイメージです。

二つ目は 3000 万署名からの発展性です。具体的には、**地域単位での共同署名**に力を入れて取り組みたい。「9 の日」行動は組織としての地域共同署名の活動でした。これをさらに発展させ、地域ごとに集まる場所と日時を決め、地域の署名活動に入っていく活動です。目的は二つあります。一つは地域の活動力をつけること(後述)と、もう一つは**「一般世間」**に平和憲法擁護の声を広げること、です。

②地域の拠点づくり

「草の根」改憲への対抗軸は「草の根」護憲運動です。根が地中に毛脈を張って強靭となる如く、

地域に根を下ろした手足の強靭な運動をどうやって作っていけるでしょうか。政党、あるいは全国組織の支部と異なって、ボランティアな市民団体の地域拠点づくりは可能でしょうか。平和委員会・城ケ崎サークルの場合は、「暮らしをサポート」する仲間づくりがあって、学習するサークルづくりへと発展しました。「イヌ友」のような仲間関係がないところで、改憲反対を目的とする地域単位の拠点を立ち上げることができるでしょうか。発想を変えてみましょう。具体的な共同行動を取っかかりとして日常的な拠点づくりへ進む方向が考えられるのではないでしょうか。「緊急署名」取りの**具体的な共同行動を積み上げて**、「学習共同体」へと発展していく筋道です。可能性のある地域から、呼びかけ人が複数いる地域から、地域の拠点づくりに向けてトライしてみてみませんか。

(3) 総選挙に向けて

「9 条改憲発議」を阻止する決め手は、衆議院議員総選挙で改憲派の議席を 2/3 割れに追い込むことです。年内に解散、総選挙が行われる確率は高いと言われています。改憲派を 2/3 割れに追い込むカギは野党共闘の成否と、いわゆる無党派層の動向=投票率にあるように思います。われわれにできることは限られています。「全国緊急署名」で憲法問題とともに政治課題を訴えていくこと、選挙期間に入ったら、9 条改憲に反対する政党・候補者のために可能な範囲で応援・支援のための活動を行うこと、などです。「ネットワーク」はもちろん「アクション」の性格上、組織として特定政党・候補者の推薦・応援・選挙カンパはできません。有志個人としてビラまきや電話掛けなどで支援することになるでしょう。

(4) 他団体との共同

沖縄の基地問題や原発をめぐる問題、ローカルにはメガソーラー問題など、直接 9 条に結びつかなくとも、広い意味で平和と人権にかかわる問題については、「ネットワーク」と「アクション」が一体となって、他団体と協働することはあって良いと考えています。他団体の活動を通信紙面を通して広報したり協力を呼び掛けたりすること、問題によっては、共催・協賛の形で映画会や講演会を企画することもあるでしょう。「子どもたちを放射能から守る会」への協力、「生活と健康を守る会」や「市民劇場」との連携、「市民アクション」を構成する団体との協働も考えられます。ただし、人的なエネルギーは限られていますので、無理のない可能な範囲での共同になります。

(5) 当面の活動

今、事務局で映画**「主戦場」**の上映会を検討しています。従軍慰安婦めぐるいくつかの論点について、識者へのインタビューを通じて対立を際立たせた優れた作品です。出演者から上映中止を求める裁判が起こされている”問題作”です。はたして伊東市が「ひぐらし会館」の使用を認めるか、予断を許しません。

昨年、一昨年に引き続いて、5 月 3 日の憲法記念日に**「憲法集会」**を開きたいと考えています。集会の内容、パレードのコース、時間設定など、具体的な中身はこれから詰めていくことになります。

毎年開いている「平和展」にならって、**「憲法展」**を実施できないか、との提案がありました。「平和展」のような写真パネルはなくても、手持ちの資料を持ち寄って展示する程度の「ミニ憲法展」なら可能かもしれません。検討したいと思います。

昨年、「2012 年自民党憲法改正草案」の学習会を開きました。今年も継続して学習会を実施する予定です。テーマとして、さしあたり**「日米地位協定」**を考えています。

以上、事務局で検討している当面の活動計画について述べました。ご意見・要望があればお寄せください。

（おわり）

市民アクション通信

No.23　2020.1.20

発行 ＝ 安倍九条改憲NO！伊東市民アクション

署名集約先：伊東市職労付　〒414-0046 伊東市大原 2-1-1
Tel.0557-37-9134　Fax.0557-37-1347

＜安倍９条改憲 NO！全国市民アクション＞の訴え（抜粋）

安倍首相のもとでの改憲には反対、が国民多数の声です。市民と野党との一致点です。この一致点をさらに強く、大きくし、世論を広げ、改憲発議ができない状況を作り出すために、もう一度知恵と力を寄せ合おうではありませんか。「改憲発議に反対する全国緊急署名」を軸に、対話を強めようではありませんか。

（署名用紙を同封・添付しました）

「新署名」で2020年スタート！！

力を集めて改憲発議を断念させよう！

〔呼びかけ人〕有馬頼底、うじきつよし、落合恵子、岡野八代、鎌田慧、鎌田 實、香山リカ、佐高 信、澤地久恵、杉原泰雄、田中優子、ちばてつや、暉峻淑子、なかにし礼、浜 矩子、樋口陽一、前川喜平、益川敏英、山口二郎、北原みのり　（2019 年 12 月 13 日現在）

「9の日」署名行動で36筆

（報告：事務局 三好）

新婦人さんのサロン「ポレポレ」に 14:00 に集合し、メンバーは伊藤廣光さんご夫妻に稲葉芳子さん、持田さん、篠原さん、三好の 6 人。新署名用紙を抱えて松原・湯川地区を戸別訪問しました。参加者の感想はいろいろでした。

- 網元や商店が多く署名に廻りにくい
- お茶さんや靴屋さんに入って署名してもらった靴屋さんは民商の人だった
- インタフォンやドア越しの応対で警戒しているようだった
- 通行人に声をかけると気軽に応じてくれた
- 自衛隊必要論を声高に喋りまくる人がいた

この日得た署名数は 36 筆でした。注目の(？)篠原・三好の新署名第一回対決は 9 筆ずつで仲良く引き分けました。天気も良く絶好の署名日和でした。

来月２月９日(日)も松原・湯川地区です

午後２時、「ふらっとハウス ポレポレ」集合

市民ネット＆アクション

1/25 総会・意見交換会

ご参加ください

進んだ経験をお聞きして、経験を語りあい、今年度の活動について意見交換を行います。是非ご参加ください。

- １月２５日(土)午後１時半～4 時終了予定
- ひぐらし会館第１会議室　(TEL38-1511)
- テーマ「地域サークルの可能性をさぐる」

ビデオ「変貌する自衛隊」視聴

小林義明さんによる「城ケ崎サークルの活動」報告

フリートーク…こんな活動を、こんな学習を

「成人おめでとう宣伝」

近年になく大勢の 21 人の参加で、華やかに着飾った新成人にビラとティッシュのセットを配りました。心配された雨風も無く、用意した 300 の配布物はほぼ捌け、「新署名」と「被爆者国際署名」にも取組みました。